

## インフルエンザの流行状況(第5報)について ～警報発令継続中～

### 1 概要

平成28年第7週(2月15日～2月21日)の感染症発生動向調査におけるインフルエンザ定点あたりの報告数は44.12人(定点医療機関58カ所、報告数2,559人)となり、前週の50.81人(2,947人)より減少しました。しかし、依然として警報発令基準値の30.00人を超えており、一部の保健所管内においては患者の増加が認められていることから、引き続き注意が必要です。

保健所別では、八重山保健所が91.33人で最も多く、南部保健所51.00人、那覇市保健所が48.58人、宮古保健所39.75人、中部保健所36.15人、北部保健所21.20人の順となっています。このうち、八重山保健所では前週の報告数の2.3倍に患者が増加、中部保健所では1.07倍にやや増加、それ以外の保健所管内では減少に転じています。

また、第1週～第7週に検出されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型80.2%、B型19.8%となっています。また、A型はAH1pdm09亜型が検出されています。

県民の皆様におかれましては、引き続きインフルエンザ流行中は**不要不急の外出を避け、「手洗い」や「咳エチケット」**などの感染予防策を徹底していただきますようお願いいたします。

### 2 インフルエンザの患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ58定点医療機関(小児科定点:34、内科定点:24)の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

#### (1) 定点当たりの患者報告数(直近の7週間)

週		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週
		1/4 ～1/10	1/11 ～1/17	1/18 ～1/24	1/25 ～1/31	2/1 ～2/7	2/8 ～2/14	2/15 ～2/21
県	患者数	475	709	1057	1,989	2,438	2,947	2,559
	定点当	8.19	12.22	18.22	34.29	42.03	50.81	44.12
全 国	患者数	9,964	20,369	52,226	111,738	171,570	197,956	
	定点当	2.02	4.11	10.56	22.57	34.66	39.97	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点当たり10人以上  
 流行警報：定点当たり30人以上

## (2) 年齢別患者報告数（第1～7週）

年齢群	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
1週	13	62	77	37	35	75	63	39	24	50	475
2週	13	127	160	68	41	78	80	63	33	46	709
3週	18	246	236	107	47	88	109	83	57	66	1057
4週	40	439	468	211	101	154	202	154	87	133	1989
5週	51	529	590	231	122	175	256	184	125	175	2438
6週	53	643	665	324	118	224	343	243	150	184	2947
7週	57	597	517	286	115	185	284	192	129	197	2559
合計 (%)	245 (2.0)	2,643 (21.7)	2,713 (22.3)	1,264 (10.4)	579 (4.8)	979 (8.0)	1,337 (11.0)	958 (7.9)	605 (5.0)	851 (7.0)	12,174

第1週～第7週に報告された年齢別患者報告数は、5～9歳が2,713人（22.3%）で最も多く、次いで1～4歳2,643人（21.7%）、30代1,337人（11.0%）、10～14歳1,264人（10.4%）、20代979人（8.0%）の順となっています。

## (3) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第1週～第7週は、休校3校（中部保健所管内：2校、南部保健所管内：1校）、学年閉鎖6校12学年（北部保健所管内：1校2学年、中部保健所管内：2校2学年、南部保健所管内：2校7学年、那覇市保健所管内：1校1学年）、学級閉鎖55校94クラス（北部保健所管内：2校2クラス、中部保健所管内：20校37クラス、南部保健所管内：22校42クラス、宮古保健所管内：5校6クラス、八重山保健所管内2校2クラス、那覇市保健所管内：4校5クラス）が報告されています。

## 3 インフルエンザの感染予防策（別添チラシ参照）

（流行時の予防方法）

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ④ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑤ インフルエンザ流行中は、不要不急の外出を避けましょう。

## 4 インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。

## 5 注意喚起のお願い

県では、インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布したところです。マスコミの皆様もインフルエンザの予防等の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

※チラシは、沖縄県感染症情報センターホームページ <http://www.idsc-okinawa.jp/> からダウンロードできます。

インフルエンザまん延防止のおねがい

# みんなで気をつけよう インフルエンザ

インフルエンザにかからないために

帰ったらすぐに  
**手**を洗うのよ~!



安心してください。  
**洗**ってますよ!



インフルエンザをうつさないために

せきがでたら、  
**せきエチケット**  
だよ~!



安心してください。  
**マスク**してますよ!



# インフルエンザにうつらないために 日ごろから気をつけましょう

**咳**  
エチケット

インフルエンザをうつさないために



咳やくしゃみをする時、ティッシュペーパーを使って口と鼻を押さえましょう。ティッシュペーパーがないときはにのうで。



手を使ったり、そのままくしゃみをしてしまうとウイルスが広がってしまい二次感染の恐れがあります。

## 感染を防ぐために



### 予防チェック

日ごろしているものを  
チェック!

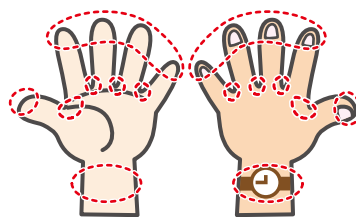
- 食事の前や帰宅後には必ず**手洗い**、**うがい**をする
- バランスのいい食事に努めている
- 休養を心がけて、睡眠時間を確保するようにしている
- インフルエンザの**予防接種**を受けている
- インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避ける
- 咳エチケット**を知っていて、実行している

## 手洗いの方法

- ポイント **1** 爪は短く切る
- ポイント **2** 時計や指輪ははずす
- ポイント **3** 石けんをよくあわ立て、最後は十分に水で流す
- ポイント **4** ペーパータオルや清潔なタオルでよく拭き取って乾かす



## 汚れが残りやすいところ



- 指先や爪の間
- 手首
- 指の間
- 親指の周囲
- 手のしわ

## インフルエンザの予防に関する相談窓口

北部保健所 Tel:0980-52-5219 / Fax:0980-53-2505  
 中部保健所 Tel:098-938-9701 / Fax:098-938-9779  
 南部保健所 Tel:098-889-6591 / Fax:098-888-1348  
 宮古保健所 Tel:0980-73-5074 / Fax:0980-72-8446  
 八重山保健所 Tel:0980-82-4891 / Fax:0980-83-0474  
 那覇市保健所 Tel:098-853-7971 / Fax:098-853-7967

相談受付 平日 午前8時30分～午後5時15分

お問い合わせ ▶ 沖縄県保健医療部健康長寿課  
 インフルエンザ情報 ▶ 沖縄県感染症情報センター

Tel.098-866-2209 Fax.098-866-2289  
 ホームページ URL: <http://www.idsc-okinawa.jp/>

子どもの急な病気に困ったら、まず☎!

## 小児救急電話相談

受診した方が良いのか、様子をもても大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の  
固定電話・  
携帯電話からは、  
局番なしの

**#8000**

※相談日時は、毎日夜間午後7時～午後11時